

## カンケンキョウ Newsletter Vol.2

カンケンキョウ(関西・健康経営推進協議会)をいつも応援していただきありがとうございます。今年2月に設立し、セミナー、連絡会等我々なりに取り組んでまいりました。

健康経営に関する関心の高まりは肌感覚で感じており、これからの企業経営に必要な考え方や経営手法であることは間違いありません。何よりも企業は元気で明るくないと発展は望めません。そのようなお手伝いをしたいと思っていますので今後ともよろしくお願ひします。

### □健康経営優良法人認定企業連絡会(第3回)を開催！

9月18日大阪産業創造館において認定企業5社、オブザーバー企業4社参加の元、以下のとおり開催しました。

- ①2019健康経営優良法人認定制度の変更点[協議会]
- ②健康経営取組み事例紹介×2社[認定企業]
- ③グループディスカッション[各社]
- ④関西・健康経営推進協議会の取組紹介



[冒頭ご挨拶]ご存知のとおり例年よりも早く9月から次年度の健康経営優良法人認定がスタートしました。また、評価項目の見直しがされて受動喫煙対策が必須となると共に女性の健康保持・増進に向けた取組み等が評価項目として加わっております。

また、5月30日には第2回連絡会を開催した際のご要望として認定制度の変更点もそうですが他社事例を知りたい、他社とのディスカッションをしたいとの内容でした。制度そのものは経済産業省資料等で理解できるものの、皆様の求めておられることは

単なる申請書の記入方法ではなく、健康経営を進める上でどのような工夫が必要かとのことかと思われまふ。特に実務担当者として従業員に対してメッセージを発信し続けるためには色んな工夫が必要です。

そのような背景からこの度は2社に事例発表を行っていただくと共にディスカッションの時間を設けております。認定申請は次回で2回目、3回目となる企業にとっては更なる工夫や改善事項が求められると共に評価項目の見直しと共に認定基準のレベルアップが予測されます。

特に他社においてどのような取組が認定基準に該当しているかについては参考になることと思ひまふ。そのようなことから協議会としてまずは認定をより取得しやすいためのサポートとしてこのような機会を設けさせていただきました。加えて、気づきの場や更なる取組みの情報入手の場として協議会としての経験やノウハウがお役に立てればと思ひております。

## 【事例発表】



健康経営は経済産業省の認定制度4回目を迎え、大企業部門では776社、中小企業部門では1093社が認定されていますが全国約400万社の総数からすればまだまだ僅かな割合だと思います。また、評価項目はあるもののその実施方法は社長の思いも含めて様々な形がありますし、当然のことながら企業の特徴が活かされるべきものだと思います。

協議会として10社近く訪問させていただきそれぞれ特徴があり工夫された取組だと感じましたが今回は、2社にお越しいただきました。

まずA社様ですが大阪都心にオフィスを構え、プランニング等の業務を行っておられますが社長が女性であり女性比率が高いという特徴がございます。その中で男性のSさんが旗振り役をやっておられるのですがオフィスワーカーならではの制度導入や様々な取り組みを行っておられます。特に女性の健康やオフィスでの健康増進についてお話していただきました。

また、B社様は工場団地内の鋼材部品メーカーでいらっしゃいます。ものづくりの現場での健康経営ということでまた違った工夫をされております。中でも社長の人間尊重の経営実践において組織力を高める上でも社員の健康には高い関心を持っておられ大変具体的な取り組みをされています。今回は趣向を変えて、インタビュー形式で実施しました。

## 【グループディスカッション】



2班に分けて、特に女性の健康について話し合いました。女性特有の健康については男性が発言すらしにくいとの声もあり、短い時間ではありましたが様々な意見が出ました。職場と一口に行っても現場、営業、事務、女性も既婚者、独身者、年代

共に様々であり、一律的な解決方法はないもののまずは男女双方の理解から始まるということ。また、制度は大切ですが何よりも運用が大事であり、制度の主旨を従業員が正しく理解して、実行することが必要です。

【発行】 関西・健康経営推進協議会(大阪市福島区海老江 2-6-17 淀屋橋健康増進センター内)

【問合せ先】 関西・健康経営推進協議会 幹事 西口泰 Tel 090-8230-1870